

登壇者マニュアル

(報告者、モデレーター、コメンテーター、パネリスト等)



・事前準備

事前打ち合わせが必要で登壇者のアドレスを知りたい場合は大会事務局にご連絡ください。

大会特設HPからセッション報告者の報告論文・報告資料等をダウンロードできます(ダウンロードするためのID・パスワードは別途メールにてお知らせいたします)。そちらに基づいてご発表やご討論をお願いします。但し、発表者がチャット上に資料等を貼り付けることを禁ずるものではありません。発表者の自己判断でお願いいたします。

大会参加申込にご利用いただいたPeatix、およびご登録いただいたメールアドレス宛に、「大会が開催されるサイトのURL」「IDとパスワード」をお送りします。当日は、それらを利用してご参加ください。

待機室はセッション開始30分前から開けておきます。直前の打ち合わせはそちらでも可能です。特に当日の発表の流れ、質問の受け付け方、チャット利用方針等について、事前にご共有いただくようお願いいたします。

・セッションのタイムライン

1セッションの時間は100分です。パネルセッションの進め方等については自由にご設定ください。

報告セッションでは、1報告につき「報告15分」+「コメンテーターのコメント5分」+「質疑応答10分(参加者からの質問への応答を含む)」の合計30分の時間配分となります(報告者の入替時間等を含みます)。とくに報告15分は時間を厳守するようご指示ください。

3つの報告(コメントと質疑を含む)30分×3=90分の終了後、残りの10分間は報告者同士が互いに対するコメントもしくは今日のセッションで得たものについての発表(一人2分×3=6分)、モデレーターによる総括(4分)に充てる。研究報告と実践報告両方が含まれるセッションは、できれば「理論と実践の相補や相乗」を意識した総括にしてください。

2つの報告しかない場合は、その分時間を減らして行ってください。

なお、当日発表者や討論者の方などにPCや回線のトラブルが生じて、持ち時間を延長せずに、予定していた各報告者の報告時間を守ってください。

・セッションの進め方

開始時間5分前までに必ずセッションにお入り下さい。



入室後、学生スタッフが登壇者全員に共同ホストの権限をお渡しします。画面には、会場案内ページ（セッション名等の案内の入ったスライド）が表示されますが、セッションスタート時に画面共有を解きます。

モデレーターの方にはタイムキーパーをお願いします。セッションのスタート、終了、発表者の時間管理は、全てモデレーターが行ってください。恐れ入りますが、時計などを事前にご用意いただくようお願い致します。



モデレーターの方は、開始時間になりましたら、ご自身のカメラ、マイクがオンになっていることをご確認の上、セッションをスタートして下さい。一般参加者には原則マイクをオフにしての参加をお願いしております（カメラのオン/オフについては通信状況を見てご判断ください）。もしマイクがオンになっている参加者がいる場合は、学生スタッフが対処致します。

報告者は、必ずカメラをオンにし、画面共有機能でスライド等を提示しながら発表してください。なお、必要に応じてチャットにて報告スライド等の資料を貼り付けることも可能です。

参加者から質問がある場合は、チャットに「質問があります」と書き込むことになっております。質疑応答の時間になったら、モデレーターの方は質問者を指名し、カメラ、マイク共にオンにしてもらい、質疑応答を進めてください。なお、時間が足りないなどの理由から、モデレーターの方の裁量で参加者に、チャットに直接質問の内容やコメント等を書いてもらうこともできるとします。



・振り返りセッションへのご参加のお願い

各日の最終セッションとして、振り返りのセッションを用意しております。モデレーターかコメンテーターの方は必ずお一人は参加するようにお願いします。報告者の方は可能な限りご参加ください。セッションの一般参加者の方々にも参加をご勧奨ください。